

JAL 出向社員の受入れについて

この度、日本航空株式会社様と協定を結び、現役客室乗務員の方を出向受入れ致します。空の上での「おもてなし」のプロフェッショナルである客室乗務員の方から、高度な接客スキル、お客様の要望に直ぐに気づける目くばり・心くばりを、かりゆしホテルズスタッフが直接学べる機会を設けたいと考えております。

そこで今回、弊社の接客力向上プロジェクトへご助力頂くことになりましたのは、親泊昌代氏（日本航空株式会社 客室本部 第5客室乗務員部 第4客室乗務員室・室長）で、本日より2年間（2021年4月1日～2023年3月31日）の任期で着任されます。

具体的な活動としましては、かりゆしホテルズスタッフの接客などを現役CAの目線から確認し、能力向上に向けた研修などを立案・計画し、弊社専任スタッフと共に接客力向上プログラムを実施します。

来る沖縄観光の復活期を見据えて、観光人材のソフト面を磨き上げ「観光の質の向上」、沖縄のおもてなし「迎恩の心」をホテリエ一人一人に身に付けて頂きたいと想います。

沖縄タイムス（4月2日掲載）

琉球新報（4月2日掲載）



**JALの社員が
かりゆしに出向**
接客対応で指導助言

県内9ホテルを運営するかりゆし（恩納村）は1日、日本航空と協定を結び、同社から社員1人の出向を受け入れたと発表した。現役の客室乗務員として人材育成に携わる親泊昌代さん（56）は写真中央が、エグゼクティブサービスアドバイザーとして、接客

対応の指導助言や研修立案などを担う。配属は総務部で、任期は2年間。沖縄観光の復活期を見据え、ホテルスタッフの接客力向上が狙い。親泊さんは「精いっぱいサービススキル向上のお手伝いをしたい」と意気込みを語った。かりゆしの玉城智司社長（同左）は「コロナ禍の厳しい状況だが、人材育成の強化でお客様に居心地のよい空間を提供し、新たな時代に向けてホテルを進化させていきたい」と期待を込めた。日本航空沖縄支店の佐々木政茂支店長（同右）は、ホテル業への社員出向は初めてとし「よりよいサービスを提供したい」という共通の思いで、培った経験やノウハウを伝えていけたら」と語った。



**JAL現役CA
接客スキル伝授**
かりゆしに親泊さん

【恩納】ホテル経営のかりゆし（玉城智司社長）は1日、日本航空（JAL）の現役客室乗務員・親泊昌代さん（56）は写真中央を、チリゾット・オーシャンパルのエグゼクティブアドバイザーとして迎えた。親泊さんは2年間の任期で、ホテルスタッフに接客スキルなどを伝える。JALからホテル業界への出向は初めて。親泊さんは入社以来、主に国際線に勤務し、9年前からは管理職として人材育成と乗務を兼務してきた。親泊さんは「感謝の気持ちでサービス心を伝えたい」と意欲を語った。

かりゆしの玉城社長（同左）は「コロナ禍から課題だった人材育成を強化したい」と、ホテルの接客力向上を図る狙いを語った。JAL沖縄支店の佐々木政茂支店長（同右）は「培ったノウハウを伝えることでお手伝いしたい」と話した。

（お問合せ先）株式会社かりゆし 総務事業本部 総務部（担当：當眞 梓）